

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【泰平小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 国語「言葉の特徴や使い方に関する事項」算数「図形」 <指導上の課題> 定着に個人差がある。個に応じた指導や繰り返し学習の時間の確保が必要である。	⇒ 国語・算数のモジュールの時間を各30回程度設定し、個に応じて「学習ソフト」や書き込み式ドリル等を用いて、繰り返し学習に取り組む。【週に2回】 何ができたのか、どうしてできたのかなど、児童が自らの学びを振り返ることができるようになる。また、振り返りの中で、主語と述語を意識させる活動を継続していく。【毎時間】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 国語の「読むこと」算数「変化と関係」 【指導上の課題】 意図的に思考力を深められるような学習活動が少ない。 「わかる・できる喜び」を味わえるような、児童主体の授業展開が少ない。	⇒ 学校課題研修との関連を図りながら、直接的な指導とICTの活用を効果的に組み合わせた授業を展開する。また、児童が自らの考えを主体的に発表する機会を意図的に増やしていく。【毎時間】 学びのポイント「し・しゃ・く」を意識した児童主体の授業を行うために、自ら課題を設定し、解決するなどの探求的な学びを展開する。【学年の実態や単元に応じ学期に1回程度】

⑤	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	国語の情報の扱い方に関する事項において課題が見られた。自分なりに情報を整理できるようにするために、目的や意図に沿って、線や囲みなど図示できるよう指導することが重要である。算数のB図形において課題が見られた。図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目しながら、図形の性質について説明できるような活動を重視していきたい。理科のA物質・エネルギーの領域に課題が見られた。学習した知識を身の回りに見られる事象・現象と関係付けたり、体験を重視したりして、物質の性質に関する理解を深められるような活動を重視していく。 R7全国学力・学習状況調査の児童質問「課題の解決に向け、自分で考え、自分から取り組んでいるか」に対する肯定的な回答の割合がとても大きい。個別最適な学びの実現に向け、研修を精進していく。	
思考・判断・表現	各教科とも、全国平均を上回った。国語のB書くことにおいて課題が見られた。文章を書く際には、相手意識・目的意識を明確にしながら、書く内容を整理するよう指導していく。また、内容のまとまりで段落をつくらせたり、段落相互の関係に注意したりして文章の構成を考えられるようにしていく。算数のDデータの活用において課題が見られた。問題解決のために、複数の情報から問題解決に必要な数量を見だし、それらの数量の関係をつかえたり、式や言葉の式に表現できるように活動を重視していく。 R7全国学力・学習状況調査の児童質問「友達とのかたわらで話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができているか」に対する肯定的な回答の割合が大きい。児童主体の授業改善を今後も継続して行っていく。	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	B	モジュールの時間を活用し、繰り返し学習に取り組んでいる。学習内容を定着させるために、タブレットの学習ソフトを活用するなど、一人ひとりの課題にあった学習に取り組ませようとしている。 視点を明確にし、何ができたのか、どうしてできたのかなど、自らの学びを振り返る時間を確保しているが、毎時間の実施については課題が残る。	変更なし
思考・判断・表現	B	学校課題研修との関連を図りながら、直接的な指導とICTの活用を効果的に組み合わせられるよう、授業を展開している。 学びのポイント(じ・しゃ・く)を意識し、学年の実態に応じて、探求的な学びを工夫しているが、学校全体での実施には課題がある。	友達同士で言葉で説明したり、学んだことを図に表したりする活動を多く取り入れ、知識と関連付けて理解を深められるよう指導していく。 【毎時間】 評価基準を児童に示し、児童主体の振り返りができるようにする。【単元によって2回程度】

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)